

校訓 「仲よく」－みんな仲よく元気で伸びていく子－



令和7年度学校教育目標

描こう 自分の未来 創ろう みんなの学校 ～2年次～

Let's design my future, Let's create our School for all.



「自律した未来の開拓者」として	「自立した学習者」として	「未来を共創する主役」として
<p>「こどもまんなか」の学校運営と自律の支援 「こどもまんなか」意識を育てる自治活動 ・児童会を中心とした自治的諸活動の充実 ・こどもが工夫して創り上げる活動の保障 「こどもまんなか」の学級・学年経営展開 ・クラス会議・対話による学級自治の展開 ・「学級目標」「児童会目標」の設定と共有 ・モラル・道徳教育と自治・自律の両立 <b>自律が成長を支える自己責任・自己管理</b> 目的を明確にしたうえで「自律」の育成 ・タブレット使用や情報モラル教育の充実 ・ノーチャイム制と時間管理能力の醸成 ・自己管理(PDCA)能力の段階的育成 ・宿題から自主的な学び習慣への変革 ・いじめ・差別の禁止と人権教育の徹底 <b>自他の命を尊重する自己防衛・危機管理</b> ・生活習慣を整え守る健康保健教育 ・自身の身を守る防災防犯安全教育</p>	<p>こどもを主語にした学校での学びの展開 <b>自立-自ら求め自ら学ぶこどもの育成-</b> ・学び・対話を通して育つこどもの姿の追究 ・段階に応じた自立した学習者の明確化 <b>学習指導要領に沿った学習展開と評価</b> ・次期改訂を見通した学習展開の工夫 ・中心課題の成果とパフォーマンス評価確立 ・教科の学びの本質に迫る授業を創る <b>学びのサイクル・学びのスタイルの構築</b> ・個別最適・協働的な学びの展開の工夫 ・対話を大切に協働的な学びの展開 <b>様々な学びを深めるICTの展開と充実</b> ・ICTをツールとした「質の高い学びの実現」 ・学習活用法の共有と段階的指導研究 ・情報処理スキルの向上を図る取り組み ・学習における振り返り・学び合いでの活用 ・学びの蓄積としてのクラウドの活用 ・自律のなかでの積極的な学習活用へ</p>	<p>こどもが次代に主人公となる土壌整備 <b>多文化共生を目指す学校づくり</b> ・あいち人権プランに即した人権教育の充実 ・外国語教育の充実とシステムづくり ・日本語適応指導教室「ひまわり」の充実 <b>こどもの心と命を守る支援システム</b> ・心の教育の充実とSC・SSCの積極的活用 ・自殺防止教育・ゲートキーパー教育 ・ICTでのこころの天気・個別相談システム <b>共創のまちづくり参画と公民連携</b> ・アジア競技大会愛知・名古屋への参画 ・続・シーホース三河ホームタウン化計画 <b>SDGsの視点に立った学校教育の展開</b> ・17目標に即して学校教育の充実を図る ・ESD教育の展開とユネスコスクール申請 <b>安全推進に取り組む学校づくり</b> ・セーフティプロモーションスクールの構築 ・実効的な学校安全・防災計画の作成</p>

学年で育ち合う力 ～学年構想力と学級追究力の融合～（学年プラス1構想＋フレキシブル担任構想の展開）

本気になって取り組む～未来に生きる力で考える「総合的な学習の時間」・生活を豊かにしようとする「生活科」の展開～

今日的な課題を取り上げ、自身の課題意識を醸成しながら仲間と協働的な学びを進めることで、個の考えやこだわりを大切に、自身の学ぶ力の推進力に変えていく総合的な学習や生活科を展開する。教科で得た学びのサイクルや学びのスタイルを生かし、解のないこれからの社会に対する最適解を導き出すための学びの取り組みをダイナミックに各学年で展開し、社会に参画していく

学年での道徳展開と多文化共生学校としての心の教育・道徳教育の充実～多文化共生を謳う本校のモラルの基盤は「道徳」～

ローテーション道徳の積極的展開と学年教員によるこどもの心の教育醸成を図り、学校教育活動全体を道徳教育の場にして展開する

学年で様々な学習形態を研究しながら、教科の一部で「自由進捗学習」等を展開し、個別最適な学びに取り組む

昨年度の取組を参考にして、協力教員も加えた形で、単元内で自身の課題に応じた学習を展開し、学びの定着・学びの充実を図る

総合的な学習の時間等についても同様に考え、学年内での自由な組み換えも可能として個別最適な学びのシステムを構築する

「こどもまんなか」を具現化する、こどもを主語にした活動の展開～ペア学年・異世代・幼保小連携から「対話」と「自信」を創出～

こどもの考えや思いが生きるダイナミックな関わり合いから学びを得て、「対話」「行動」を重視し、「自己有用感」や「自信」を創出する

研究目標 チームで心をひとつに♡～認め合い、高め合い、深め合える子の育成を目指して～【第2年次・安城市教育委員会委嘱準備年】

<p><b>自律を支える生徒指導の考え方の転換</b> ・禁止から「自制」の考えに変える自己管理 ・勝手から「自主」の考えに変える学校生活</p>	<p><b>取り残さない学習指導と学び合い</b> ・「対話」「自分スタイル」で納得のいく学び ・ICTを活用した習得での反復学習の展開</p>	<p><b>幼保小連携の展開</b> ・教育研究・学校運営分野での交流 ・こども理解・発達段階に応じた交流活動</p>
---	--	---

「ウェルビーイングな社会の構成者」として 心身の健康・ポジティブな環境・コミュニケーションと協力体制・多様性包括性の尊重

<p><b>取り残さない友達や仲間の心</b> ・ゲートキーパー教育(支える人になろう) ・いじめと差別防止の人権教育の充実</p>	<p><b>大切にしたいわたしの心</b> ・こころの天気による心情変化の把握 ・ふりかえりや思いを大切に教育</p>	<p><b>共に育てたい地域の心</b> ・あいさつと笑顔と対話のあるまちづくり ・文化を超えたかかわり合いの展開</p>
--	---	---

こどもを主語にした教育を展開するための指針

自慢したくなる「みんなの学校」～誰一人取り残さない成長・教育・仲間の保障～

Be able to proudly say, "This is our school." No one left behind Growth, education, and companionship security.

<p><b>中高生・地域社会との絆</b> 母校愛でつなぐ学校活動の展開 対話が「ふるさと二本木」をつなぐ</p>	<p><b>未来へつなごう～ふるさと二本木と仲間との絆～</b> 二本木小コミュニティスクール構想「Team NAKAYOKU」申請 二本木小多文化共生学校構想「ASPnet UNESCO SCHOOL」申請</p>	<p><b>多文化共生・国際社会との絆</b> 全ての人の命を守る防災安全教育 「世界の窓口」となる学校をめざす</p>
---	--	--

<p>誰一人取り残さない教育を進めるために ～教職員の事務処理システム・勤務改善によるこどもとのふれあいの時間の創出～</p>	
<p><b>校務DXの推進</b> ～ICTによる時間と学びの創出～</p>	<p>教師間情報連携のシステム化、こどもの動向把握・心身把握のICT化</p>
<p><b>「チームとしての学校」～地域・企業・学校間連携～</b></p>	<p>二本木ボランティアシステムの構築、地域の名人・協力企業の支援と協力</p>
<p><b>書面から対面への転換～保護者と「対話」・「共育」～</b></p>	<p>こどもの成長に資する保護者との懇談・活動の評価意見集約・子育ての提案</p>